

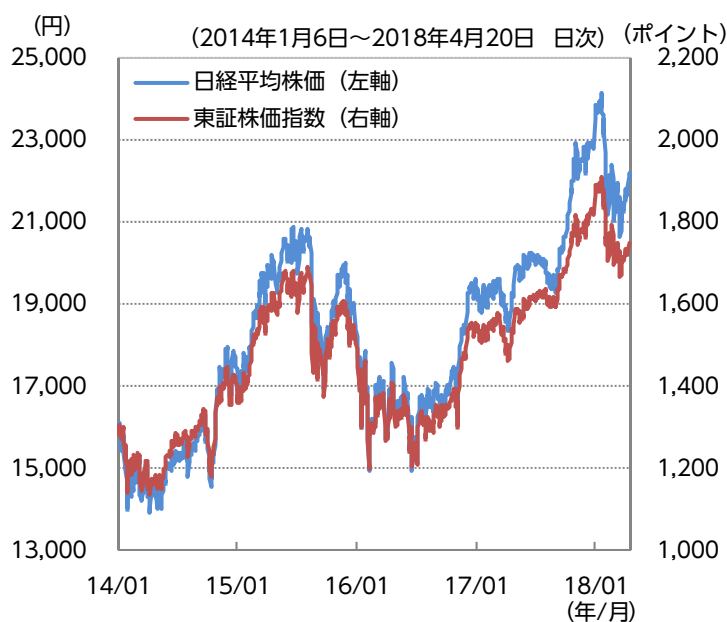
週間市場レポート

(2018年4月16日～4月20日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

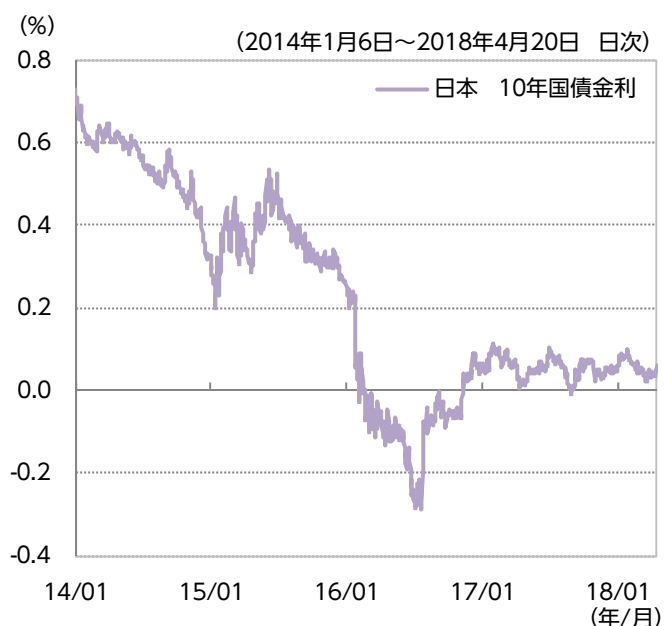
- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。日米首脳会談を17～18日に控え、投資家の様子見姿勢が強かったものの、前週末から引き続き5日続伸し、19日（木）は2月27日以来約1カ月半ぶりの高値をつけました。週末は、半導体需要が伸び悩むとの懸念から関連株を中心に上値の重い展開となりました。（週末引け値：22,162.24円）
- 週間では、日経平均株価は1.76%の上昇、東証株価指数は1.26%の上昇でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で小幅に上昇となりました。日米首脳会談を無難に通過したことや、財務省が実施した国債入札、日銀による国債買い入れオペ（公開市場操作）等の結果を受け、上昇基調で推移しました。（週末引け値：0.060%）
- 週間では、0.022%の上昇となりました。

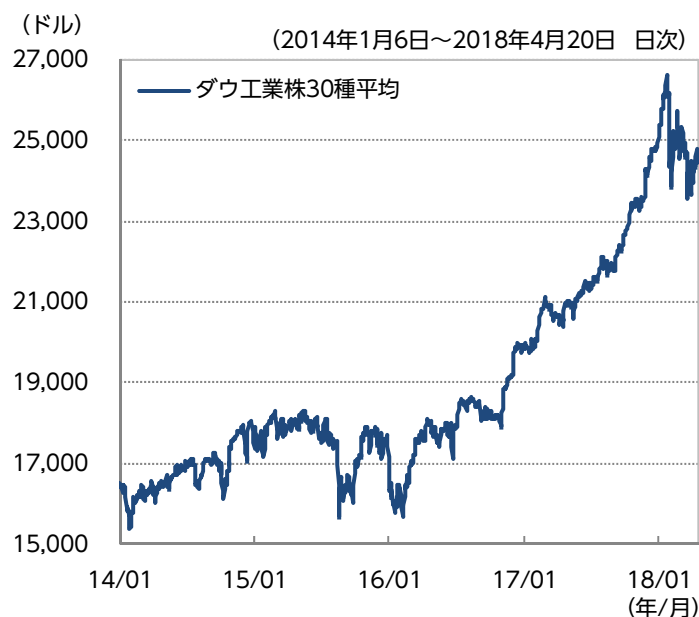


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、上昇となりました。堅調な企業決算や原油価格の上昇、北朝鮮情勢の改善期待などを背景に週前半は上昇基調で推移しました。その後は、半導体需要に対する懸念の高まりにより上値の重い展開となりました。（週末引け値：24,462.94ドル）
- 週間ではNYダウは0.42%の上昇となりました。

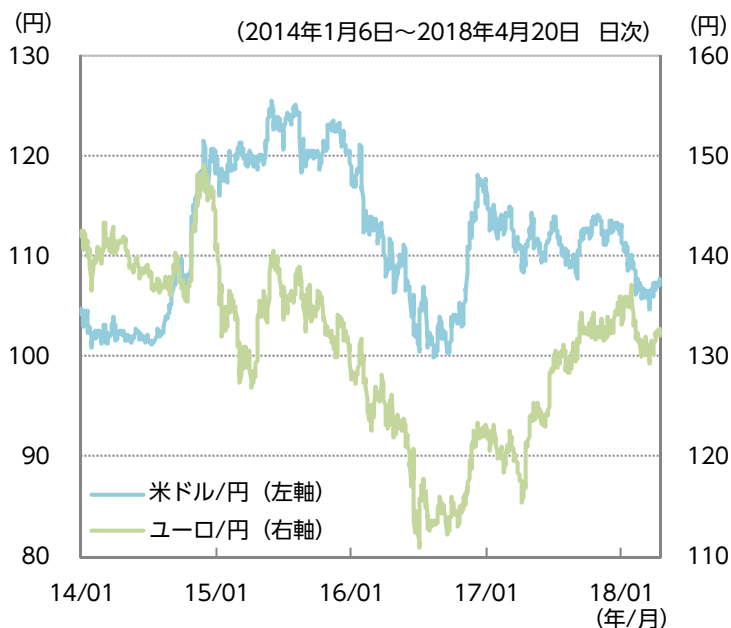


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週初は、17～18日の日米首脳会談で米国が円安けん制姿勢を示す可能性を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。その後は、北朝鮮を巡る緊張が緩和するとの見方や、日米首脳会談で米ドル円相場への言及がなかったこと等を受け、週末まで円売り米ドル買いが優勢となりました。（週末引け値：107円60銭～70銭）
- 週間では米ドル/円は0.29%の円安、ユーロ/円は0.08%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>